

浜学園	5年							
	算数							
学習内容	No.37 立体図形の発展 No.38 文章題(3) No.39 水問題 No.40 図形の移動(1) No.41 図形の移動(2)							
家庭学習ポイント	No.37『立体図形の発展』では円すい台や角すい台、回転体の体積や表面積、立体の切断についても学習します。計算は煩雑になるので、「1問を解き切るまでの集中力」を意識して取り組みましょう。立体の切断はルールに従って切り口の線を入れていきます。「切断」ですから「切り離す」ことが必要で「この切り口で立体は2つに切り離せるのか」をよく考えることがポイントです。No.38『文章題(3)』では仕事算、ニュートン算、延べ算、植木算、方陣算を学習します。1回の授業内容としては非常に多岐にわたっていて、知識の抜け漏れを確認しながら駆け足で進んでいきます。No.39『水問題』では水槽に入った水の体積の考え方や、棒を突っ込んだ時の水位の変化の仕方、さらに水入れグラフの問題の解き方を学習します。水問題では、同量の水を入れた時に底面積と高さの比が逆比の関係になることを多用して考えます。水入れや点移動のグラフでは、線が折れ曲がっているところで何らかの出来事が発生しています。問題をよく見てその点で何があったのかを考えましょう。No.40『図形の移動(1)(2)』点移動や平行移動の問題で、X秒後の面積を求めるような場合は、必ずその「X秒後」の状況を図にする習慣をつけることが大切です。							
課題の把握と解決策	チェック1	立方体の切断では、切り口がはっきりわかるように見取り図中に書き込むことができますか？						チェック
	解決策	「切り離すことができる」を意識して取り組んでみましょう						□
	チェック2	仕事算、ニュートン算を比を使って考えられていますか？						チェック
	解決策	「A君なら20日、B君なら30日かかる仕事」→仕事量は最小公倍数の60　といった具合いですね						□
	チェック3	水問題で、水の量が同じなら底面積と高さが逆比であることを利用していますか？						チェック
	解決策	やはり比の考え方を使って解くことがポイントになりますね						□
	チェック4	図形の移動では、自分で一から図を書いて解いていますか？						チェック
	解決策	小問数が多いとき「書いては消し…」をするとミスのもととなり、見直しにも支障をきたしますね						□
	チェック5	冬休みに力を入れて学習したい分野、単元は決まっていますか？						チェック
	解決策	まずは冬期講習会のカリキュラムに上記の課題単元があるか、チェックしてみましょう						□
浜学園	5年							
	国語							
学習内容	随筆文 説明文 論説文 文学史							
家庭学習ポイント	完全学習」の読解は随筆文・説明文・論説文・文学史を学習します。文学史では各時代の文学を学習します。作品名・種類・作者などを知識として身につけていきましょう。「合格達成への礎」では説明的文章、総合問題を扱います。総合問題では俳句と随筆文を学習します。テキストも公開学力テストも、入試問題レベルの文章が増えてきました。これまでは接続語の問題が得意だったお子様が、難易度の高い文章となるとできなくなる、というケースが出てきます。接続語の問題の正しい考え方は、一文全体を確認し、前後の文を確認するという手順です。素材文の難易度によって解けなくなる場合は、この手順を行わずに感覚で解いてきた可能性があります。前後の関係にはどのようなものがあったのか確認をしながら整理していきましょう。接続語の正答率が下がっている場合は、他の問題においても、正確な手順を踏んでいない可能性が高いため、この冬一通りの文種について読解法を復習しておくのがよいでしょう。							
課題の把握と解決策		随筆文の読解では、筆者の体験（事実）と筆者の意見を読み分けていますか？						チェック
	解決策	本文中に線を引くなどして分けていく読み方などもためてみましょう						□
	チェック2	説明文・論説文の読解では、逆説の接続語に注目していますか？						チェック
	解決策	まずは一般的なことを説明し「しかし」などの後に筆者の考えが述べられることはよくありますね						□
	チェック3	説明文・論説文の読解では、言い換えの接続語に注目していますか？						チェック
	解決策	「つまり」「要するに」などの後に筆者の考えが述べられるパターンです						□
	チェック4	文学史の知識を増やしていますか？						チェック
	解決策	今回を機に、志望校が文学史を出題する学校であれば長期計画で取り組んでみましょう						□
	チェック5	語彙を増やす努力をコツコツと続けていますか？						チェック
	解決策	読解でわからない言葉があるとき、文の内容を見失わないよう親御さんが補足してもいいでしょう						□

浜学園	5年							
	理科							
学習内容	No38 骨と筋肉・人の誕生 No39 豆電球と乾電池 No40 豆電球の明るさくらべ No41 抵抗と電流・スイッチ回路							
家庭学習ポイント	No38「骨と筋肉・人の誕生」で人体の学習が終了すると、、豆電球と乾電池、豆電球の明るさ比べ、抵抗と電流・スイッチ回路を学習します。これらの単元で重要なことは、公式を使いこなすとともに、回路図を自分なりに、わかりやすく書き直して、数値を書き込みながら解いていくことです。No39、40では、まずは「電流＝電気の流れ」「電圧＝電池が電気を流す力」「豆電球（電気抵抗）＝電気が流れにくい通り道」というイメージをしっかりと持つことです。同じ電圧（電池のパワー＝豆電球の直列個数）であれば豆電球が2個直列（電気抵抗が2倍）になると、回路に流れる電流が半分、豆電球が2個並列（電気抵抗が2分の1）になると、回路に流れる電流が2倍になるということを「実感」をもって理解できているかどうか大切です。No41では本格的に電流と電圧、電気抵抗の関係（オームの法則）について学びますが、No39、40の豆電球の学習を「丸暗記」で済ませてきたお子さんはつまずきます。必ず「言葉で説明できる状態」で理解しておくことを心がけてください。							
課題の把握と解決策	チェック1	電流・電圧・電気抵抗の関係について正しく説明できますか？						チェック
	解決策	電圧・電気抵抗が2倍になったら電流の大きさがどうなるか、説明してみましょう						□
	チェック2	電熱線（豆電球）の直列、並列と電気抵抗の大きさについて言葉で説明できますか？						チェック
	解決策	「直列＝電熱線が長い＝電気抵抗が大きい・並列＝電熱線が太い＝電気抵抗が小さい」イメージです						□
	チェック3	スイッチ回路もの問題では、スイッチを入れたときの回路図を自分で書いて解いていますか？						チェック
	解決策	回路図が書けない状態は「理解していない」と考えましょう						□
	チェック4	電熱線の長さや断面積が様々な問題を、整理して解けていますか？						チェック
	解決策	電気抵抗は電熱線の長さに比例、断面積に反比例します。「長さ÷断面積」で電気抵抗の比を出そう						□
	チェック5	冬に重点的に学習したい分野をリストアップしていますか？						チェック
	解決策	これまでの復テの推移、公開の正答率表からリストアップし始めましょう						□
浜学園	5年							
	社会							
学習内容								
家庭学習ポイント								
課題の把握と解決策								チェック
								□
								チェック
								□
								チェック
								□
								チェック
								□
								チェック
								□